



ヨハン・シュトラウスⅡ世

# こうもり

Die Fledermaus / Johann Strauss II

2023年12月6日(水)～12月12日(火)

会場:新国立劇場 オペラパレス 2023年10月7日(土) 10:00～ 前売開始



## ゴージャスな年越しといえばやっぱり『こうもり』！心躍る大人のエンターテインメント決定版！

『こうもり』はワルツ王ヨハン・シュトラウスⅡ世が作曲した最高に素敵なオペレッタ。心躍る有名な序曲からシュトラウスの軽やかな音楽が続き、美しいワルツやポルカにのせてユーモアいっぱいの喜劇が繰り広げられます。新国立劇場の『こうもり』はクリムトの絵から飛び出したようなアール・デコ調の華やかな美術・衣裳も大きな見どころ。目に耳にウィーン洗練の美と洒落た風刺が続く『こうもり』は、まさに大人のためのエンターテインメントです。

シュトラウスの町ウィーンでは、年末年始の風物詩として『こうもり』が上演されます。2023年の年の瀬は、オペラファンお待ち兼ねの楽しくてエレガントなオペレッタで、劇場ならではの豊かなひとときをお過ごしください。

<資料のご請求、ご取材のお問い合わせ>

新国立劇場 制作部オペラ 広報担当 高梨木綿子

Tel:03-5352-5733/Fax:03-5352-5709/E-Mail: [takanashi\\_y2525@nntt.jac.go.jp](mailto:takanashi_y2525@nntt.jac.go.jp)

## ウィーン気質の洒脱なユーモアいっぱいの最高のオペレッタ



ワルツ王シュトラウスⅡ世が作曲した、オペレッタの最高傑作『こうもり』。次々に繰り出される美しいワルツやポルカ、小粋な風刺やユーモアが観客の心を高揚させ、大団円を迎える頃には劇場じゅうが幸福な空気に包まれる、最高の音楽劇です。華と笑いがいっぱい、ウィーン年末年始の風物詩としてもおなじみです。

『こうもり』には陽気で軽妙な応酬、素朴な愛があふれる一方で、人生の浮き沈みに対するほろ苦い哲学も込められ、その深みがいつそう観客の共感を呼びます。『こうもり』が作曲された当時のウィーンの町はウィーン万国博覧会に沸く一方でコレラの流行と株の大暴落に見舞われていました。

舞踏会で人々が唱和する「みな兄弟姉妹となろう」という共生のメッセージは、世界情勢に不安を覚える現在の観客の心にもひと際深く染みることでしょう。

美しい音楽が満載で幸福感のあふれる『こうもり』は、オペラ初心者の方やご家族連れにもお薦めです。こうもり博士のいたずらを一緒に楽しみましょう！

## まるでクリムトの世界！ウィーンの香気たっぷり、アール・デコ調の煌めく舞台美術・衣裳に注目

『こうもり』の演出はウィーン宮廷歌手の名テノール、ハインツ・ツェドニク。2006年新国立劇場でのこの演出でツェドニクは演出家としてデビュー、この後、翌年のウィーン・フォルクスオーパー『こうもり』などの演出を手がけました。ウィーン出身で『こうもり』の四役をレパートリーとする名テノール歌手ツェドニクは、ウィーン気質が身体の隅々まで沁み込んでいます。小粋でエレガント、洒脱な仕掛けがたくさん用意された正統的な演出は、『こうもり』の魅力余すところなく伝えます。

ツェドニク演出の『こうもり』は、アール・デコ調の華やかな舞台美術・衣裳も大きな見どころ。舞台の縁を飾る市松模様、背景を優雅に彩る植物のモチーフなど、舞台はアール・デコの感覚で統一してデザインされ、照明の効果で刻々と表情を変えます。金色に輝く幾何学模様や、日本の美感を取り入れた優雅で官能的なラインの衣裳など、クリムトを彷彿させるデザインも盛りだくさんで、美術ファンの心も捉えてやみません。



## 俊英指揮者パトリック・ハーンらフレッシュな顔ぶれが楽しみ！

オーストリア出身でジャズピアノなど多才ぶりを発揮する若手指揮者パトリック・ハーンが新国立劇場初登場。アイゼンシュタインに温かな声と抜群の感性で評価されるマクガヴァン、ロザリンデにはウィーンで学びウィーン、ベルリン、ブリュッセルなどで活躍するソプラノのマルグエッレ、アデーレにスウェーデンの誇る歌姫シェシュティン・アヴェモとフレッシュなキャストが華やかに揃います。アルフレードには日本のトップテノールの一角に躍り出た伊藤達人が出演します。



### <「こうもり」あらすじ>

ウィーン郊外。アイゼンシュタインは顧問弁護士の不手際で禁固刑を受け大憤慨。しかし、悪友ファルケに誘われ、妻ロザリンデには「刑務所へ出頭する」と偽り、変装してオルロフスキー公爵邸の夜会へ。そこで仮面の美女を妻と気づかず口説く。翌朝、刑務所に出頭したアイゼンシュタインは駆けつけた妻の浮気を疑うが、自分の浮気がばれて逆にやり込められる。そこへ、この茶番劇の仕掛人ファルケが現れ、「すべてはシャンパンのいたずら!」と大団円を迎える。

### <新国立劇場『こうもり』ダイジェスト映像>

[https://youtu.be/vHk4J48\\_hug?si=rng\\_MXDndaEQrLYB](https://youtu.be/vHk4J48_hug?si=rng_MXDndaEQrLYB)

## <主要キャスト・スタッフプロフィール>

### 【指揮】パトリック・ハーン

Patrick HAHN

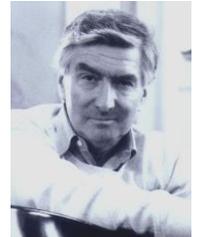
グラーツ出身。コンサートとオペラ双方で活躍する新鋭指揮者。2021/22シーズンからはヴッパタール交響楽団及びヴッパタール歌劇場音楽総監督に就任、ドイツ最年少の音楽総監督となる。21/22シーズンからボルサン・イスタンブールフィルハーモニー管弦楽団首席客演指揮者、ミュンヘン放送管弦楽団首席客演指揮者も務める。ミュンヘン・フィル、バイエルン放送響、ロイヤル・コンサートヘボウ管弦楽団、ロンドン・フィル、ケルン・ギュルツニヒ管弦楽団、NDR交響楽団などに招かれるほか、オペラではバイエルン州立歌劇場、ハンブルク州立歌劇場、チロル・エルル音楽祭などに登場。現代音楽ではクラングフォーラム・ウィーンとの共演を重ねる。最近指揮した公演に、フランクフルト歌劇場『チェネントラ』、オランダ国立オペラ『魔弾の射手』、ウィーン交響楽団と共演したキッシンゲンの夏音楽祭、ヴッパタール歌劇場『タンホイザー』、ロンドン・フィル、ロイヤル・スコティッシュ・フィル、ベルリン・ドイツ響、バンベルク響などへの客演がある。ゲオルク・クライスラーのキャバレーソングの弾き歌いも行い、22年のクライスラー生誕100年記念でウィーンのコンツェルトハウスなど各地で演奏。ジャズピアニストとしてもシカゴ・ジャズフェスティバルでの数々の受賞、ウィスコンシン大学ジャズフェスティバルの最優秀ジャズピアニスト賞などの受賞がある。新国立劇場初登場。



### 【演出】ハインツ・ツェドニク

Heinz ZEDNIK

ウィーン生まれ。1964年グラーツ歌劇場と契約を結び、翌年、ウィーン国立歌劇場に移る。80年には宮廷歌手の称号を授与される。94年ウィーン国立歌劇場の名誉会員となり、97年にはフィデリオ・メダルを授与されている。これまでにバイロイト音楽祭、ウィーン国立歌劇場、ミラノ・スカラ座、メトロポリタン歌劇場、パリ・オペラ座、バイエルン州立歌劇場など、世界の主要な歌劇場に出演。オペラとオペレッタのレパートリーは100役を超える。特に『こうもり』に関しては4役をレパートリーにしており、この演目に関してのエキスパートとして知られている。新国立劇場には、2004年『スペインの時』トルケマダ、『サロメ』ヘロデ、『ファルスタッフ』医師カウスに出演。06年本プロダクションで演出家として世界デビューを果たし、09年、11年、15年、18年、20年に再演、今回が6度目の再演となる。



### 【ガブリエル・フォン・アイゼンシュタイン】ジョナサン・マクガヴァン（バリトン）

Jonathan MCGOVERN

イギリスのバリトン。英国ロイヤルオペラで『アポロとダフネ』アポロにロールデビュー。ガーシントン・オペラ『エウゲニ・オネーギン』タイトルロール、『ドン・ジョヴァンニ』タイトルロール、『魔笛』パパゲーノ、ウェルシュ・ナショナル・オペラ『戦争と平和』アンドレイ、『フィガロの結婚』アルマヴィーヴァ伯爵、イングリッシュ・ナショナル・オペラ『ミカド』ピシュタツシュ、スコティッシュ・オペラ『夏の夜の夢』デミートリアスに出演。コンサートでもエディンバラ音楽祭で『ナクス島のアリアドネ』かつら師、アーリー・オペラカンパニー『デイドとエネアス』エネアス、ウィグモアホールで行われた『アポロとダフネ』アポロなどに出演。国外の歌劇場での主な出演に、ハンブルク州立歌劇場『魔笛』パパゲーノ、ベルリン・コーミッシェ・オーパー『ペレアスとメリザンド』ペレアス、シャンゼリゼ劇場『ドン・ジョヴァンニ』などがある。2022/23シーズンからベルン歌劇場専属歌手となり、『魔笛』パパゲーノ、『ギョーム・テル』ルートルドなどに出演している。新国立劇場初登場。



### 【ロザリンデ】エレオノーレ・マルグエツレ（ソプラノ）

Eleonore MARGUERRE

ハイデルベルク出身。カールスルーエ、ウィーンで声楽を学ぶ。2008年ヴィオッティコンクールなど数々の国際コンクールで優勝。キャリア初期にはジュネーヴ大劇場、ウィーン国立歌劇場、ベルリン・ドイツ・オペラ、ハンブルク州立歌劇場、ザクセン州立歌劇場などで『魔笛』夜の女王、ライプツィヒ歌劇場、エッセン歌劇場、ドルトムント歌劇場などで『後宮からの逃走』コンスタンツェ、ダルムシュタット歌劇場『リゴレット』ジルダなどに出演。その後リリック・ソプラノの役柄を歌うようになり、ドルトムント歌劇場、ライン・ドイツ・オペラ、ニュルンベルク歌劇場、エアフルト歌劇場、トゥール歌劇場、モンテカルロ歌劇場などで『コジ・ファン・トゥッテ』フィオルディリージ、『椿姫』ヴィオレッタ、『マノン』タイトルロール、『ドン・ジョヴァンニ』ドンナ・アンナ、『フィガロの結婚』伯爵夫人などに出演。モネ劇場『利口な女狐の物語』狐、『フランケンシュタイン』（世界初演）エリザベートにも出演している。最近ではナント歌劇場、アヴィニオン歌劇場、トゥーロン歌劇場『こうもり』ロザリンデ、ヴッパタール歌劇場『メリー・ウイドウ』ハンナ・グラヴァリなどに出演している。新国立劇場初登場。



### 【フランク】ヘンリー・ワディングトン（バス・バリトン）

Henry WADDINGTON

イギリス出身。王立ノーザン音楽大学で学び、『夏の夜の夢』ボトムでデビュー。グラインドボーン音楽祭で『アラベッタ』ラモラル伯爵、『夏の夜の夢』クインス、『フィデリオ』ドン・フェルナンドなどに出演を重ねる。英国ロイヤルオペラ、オペラ・ノース、イングリッシュ・ナショナル・オペラなどイギリスの様々なカンパニーに『フィガロの結婚』バルトロ、『セビリアの理髪師』バジリオ、『ラ・ボエーム』コッリーネ、『カルメン』スニガ、『オテロ』ロドヴィーゴなどで出演。モネ劇場『三人姉妹』ソリョーヌイ、『オルフェオ』プルートのほか、リセウ大劇場、テアトロ・レアル『夏の夜の夢』クインス、オランダ国立オペラ『ピリー・バッド』などにも出演。最近の主な出演に、英国ロイヤルオペラ『フィガロの結婚』バルトロ、ウェールズ・ナショナル・オペラ『カルメン』スニガ、オランダ国立オペラ『イエヌーファ』粉屋の親方、ガーシントン・オペラ『ファルスタッフ』タイトルロール、オ



ールドバラ音楽祭『ピーター・グライムズ』スワロー、オペラ・ノース『ばらの騎士』オックス男爵などがある。新国立劇場初登場。

### 【オルロフスキー公爵】タマラ・ゲーラ (メゾソプラノ)

Tamara GURA

アメリカ出身。チューリヒ歌劇場オペラスタジオを経て、ハンブルク州立歌劇場で『ジュリオ・チェーザレ』セスト、『イタリアのトルコ人』ザイダ、『スピードの女王』ポリーナ、『ポッペアの戴冠』アモレなどに、バーデン州立歌劇場専属歌手として『イドメネオ』イダマンテ、『フィガロの結婚』ケルビーノ、『コジ・ファン・トゥッテ』ドラベツラ、『セビリアの理髪師』ロジーナなどに出演。カールスルーエ・ヘンデル音楽祭『ラダミスト』タイトルロールなどバロック作品で評価され、バロック、モーツァルト、ベルカントから現代作品と広いレパートリーを持つ。ザルツブルク州立劇場、ザクセン州立歌劇場、イングリッシュ・ナショナル・オペラ、ローマ歌劇場、エッセン・アールト劇場などで『チェネレントラ』『アリオダンテ』のタイトルロール、『コジ・ファン・トゥッテ』ドラベツラ、『こうもり』オルロフスキー公爵、『ホフマン物語』ニクラウス、『夏の夜の夢』ハーミア、『オルフェオとエウリディーチェ』オルフェオ、『カルメン』タイトルロールなどに出演。最近では、トゥーロン歌劇場、ハンブルク州立歌劇場『こうもり』オルロフスキー公爵、フランクフルト歌劇場『夏の夜の夢』ハーミアなどに出演。新国立劇場初登場。



### 【アルフレード】伊藤達人 (テノール)

ITO Tatsundo

東京藝術大学音楽学部声楽科卒業、同大学院修士課程修了。新国立劇場オペラ研修所第14期修了。文化庁在外研修員としてベルリンにて研鑽を積む。東京二期会『ナクソス島のアリアドネ』ブリゲツラに出演。日生劇場『魔笛』武士Ⅰ、『ヘンゼルとグレーテル』魔女、『ルチア あるいはある花嫁の悲劇』アルトゥーロで出演。2022年にはオーケストラ・アンサンブル金沢のオペラ『禅〜ZEN〜』鈴木大拙で主演を務めたほか、東京二期会『パルジファル』タイトルロール、日生劇場『ランメルモールのルチア』アルトゥーロと重要な出演が続いた。オペラのほか、15年新国立劇場演劇部門のミュージカル『パッション』にトラツツ中尉役で出演。コンサートでもヘンデル『メサイア』、ベートーヴェン『第九』、オルフ『カルミナ・ブラーナ』などでソリストとして活躍。新国立劇場には21年『夜鳴きうぐいす』漁師でデビューし、『ニュルンベルクのマイスタージンガー』ダーヴィットに出演した。二期会会員。



### 【ファルケ博士】トーマス・タツル (バス・バリトン)

Thomas TATZL

オーストリア出身。特にモーツァルトで活躍中のバス・バリトン。グラーツ音楽大学で声楽を学んだ後、ウィーン音楽大学を好成績で卒業。ベルリン国際歌曲コンクールなど国際コンクールに数多く入賞。在学中に『ドン・ジョヴァンニ』マゼットでオペラ・デビュー。チューリヒ歌劇場専属歌手となり多くの役柄に出演する傍ら、モンテカルロ歌劇場、リール、ビルバオ、バリャドリッド、ルクセンブルク、プレーメン音楽祭でハイドンのオペラ『L'Infedeltà Delusa (勘違いの不貞)』、クロスターノイブルクのオペラフェスティバルで『フィガロの結婚』タイトルロールに出演。その後フリーとなり、パパゲーノ、フィガロ、アルマヴィーヴァ伯爵、ドン・ジョヴァンニなどでザルツブルク音楽祭、ウィーン国立歌劇場、フェニーチェ歌劇場、チューリヒ歌劇場、ローマ歌劇場、モンテカルロ歌劇場、トリノ王立歌劇場、バレンシア歌劇場、ケルン歌劇場、中国国家大劇院など世界の主要劇場や音楽祭に出演。ミラノ・スカラ座、バイエルン州立歌劇場『ナクソス島のアリアドネ』ハルレキン、カリアリ歌劇場『ファルスタッフ』フォード、テアトロ・レアル『El Público』世界初演にも出演している。新国立劇場初登場。



### 【アデーレ】シェシュティン・アヴェモ (ソプラノ)

Kerstin AVEMO

スウェーデン出身。イエーテボリ歌劇場に2002年に『ルル』タイトルロールでデビューして絶賛され、同劇場に『カブレーティとモンテッキ』ジュリエッタ、『ルチア』タイトルロール、『オルフェオとエウリディーチェ』エウリディーチェと出演を重ねる。スウェーデン王立歌劇場『Tristessa』(世界初演)、『ペレアスとメリザンド』メリザンド、『リゴレット』ジルダ、『魔笛』夜の女王に出演。ジュネーヴ大劇場、デンマーク王立歌劇場、ダルムシュタット歌劇場、モネ劇場、ブレゲンツ音楽祭、テアトロ・レアル、フランクフルト歌劇場、チューリヒ歌劇場、エクサン・プロヴァンス音楽祭などに、『仮面舞踏会』オスカル、『ばらの騎士』ゾフィー、『皆殺しの天使』レティシア、『リゴレット』ジルダ、『パウダー・ハー・フェイス』メイド、『コジ・ファン・トゥッテ』デスピーナ、『班女』花子などで出演。最近では、イエーテボリ歌劇場『椿姫』ヴィオレッタ、『ラ・ボエーム』ミミ、『劇場の都合、不都合』プリマドンナ、『ホフマン物語』オランピア／アントニア／ジュリエッタのほか、ハンブルク州立歌劇場『人間の声』、バイエルン州立歌劇場『ジュディエッタ』アニータなどに出演。21年にはイエーテボリ歌劇場で、自身の発案・演出による『月に憑かれたピエロ』にも出演した。新国立劇場初登場。



### 【フロッシュ】ホルスト・ラムネク (バス・バリトン)

Horst LAMNEK

ウィーン出身。ウィーン国立音楽大学声楽科を優秀な成績で修了。チューリヒ歌劇場オペラスタジオを経て、ウルム歌劇場、ベルリン・コーミッシェ・オーパー専属歌手となり、現在はフリー。ボン、エッセン、レーゲンスブルク、ヴィースバーデン、リンツなどの歌劇場に客演を重ねる。最近では、レンヌ、バーリ、ソロウロン(スイス)、ナントで『こうもり』フランク、レヅジョ・エミーリアで『マハゴニー市の興亡』ビル、ソロウロンで『メリー・ウイドウ』ツェータ男爵、クロスターノイブルク音楽祭『ホフマン物語』ルーテル／クレスペル、ミラノ・スカラ座、トリノ王立劇場、バーリ・ペトルツェッリ劇場『サロメ』5人のユダヤ人などに出演している。新国立劇場では2014/2015シーズン『こうもり』にフランク役で出演した。



## 新国立劇場 2023/2024 シーズン オペラ

ヨハン・シュトラウス二世 **こうもり** 全3幕〈ドイツ語上演/日本語及び英語字幕付〉  
Die Fledermaus / Johann Strauss II

【公演日程】2023年12月6日(水)19:00/9日(土)14:00/10日(日)14:00/12日(火)14:00

【会場】新国立劇場 オペラパレス

【チケット料金】S:26,400円・A:22,000円・B:15,400円・C:9,900円・D:6,600円・Z:1,650円

【前売り開始】2023年10月7日(土) 10:00~

※予定上演時間 約3時間(休憩含む)

指揮	パトリック・ハーン	ガブリエル・フォン・アイゼンシュタイン	ジョナサン・マクガヴァン
Conductor	Patrick HAHN	Gabriel von Eisenstein	Jonathan MCGOVERN
演出	ハインツ・ツェドニク	ロザリンデ	エレオノーレ・マルグエッレ
Production	Heinz ZEDNIK	Rosalinde	Eleonore MARGUERRE
美術・衣裳	オラフ・ツォンベック	フランク	ヘンリー・ワディングトン
Set and Costume Design	Olaf ZOMBECK	Frank	Henry WADDINGTON
振付	マリア・ルイーゼ・ヤスカ	オルロフスキー公爵	タマラ・グーラ
Choreographer	Maria Luise JASKA	Prinz Orlofsky	Tamara GURA
照明	立田雄士	アルフレード	伊藤達人
Lighting Design	TATSUTA Yuji	Alfred	ITO Tatsundo
再演演出	澤田康子	ファルケ博士	トーマス・タツル
Revival Director	SAWADA Yasuko	Dr. Falke	Thomas TATZL
再演振付	石井清子	アデーレ	シェシュティン・アヴェモ
Revival Choreographer	ISHII Kiyoko	Adele	Kerstin AVEMO
舞台監督	高橋尚史	プリント博士	青地英幸
Stage Manager	TAKAHASHI Naohito	Dr. Blind	AOCHI Hideyuki
		フロッシュ	ホルスト・ラムネク
		Frosch	Horst LAMNEK
		イーダ	伊藤 晴
		Ida	ITO Hare

合唱指揮	三澤洋史
Chorus Master	MISAWA Hirofumi
合唱	新国立劇場合唱団
Chorus	New National Theatre Chorus
バレエ	東京シティ・バレエ団
Ballet	TOKYO CITY BALLET
管弦楽	東京フィルハーモニー交響楽団
Orchestra	Tokyo Philharmonic Orchestra

芸術監督	大野和士
Artistic Director	ONO Kazushi

公演情報 WEB サイト <https://www.nntt.jac.go.jp/opera/diefledermaus/>【チケットのご予約・お問い合わせ】新国立劇場ボックスオフィス TEL:03-5352-9999 (10:00~18:00)  
新国立劇場Webボックスオフィス <http://nntt.pia.jp/>

【チケット取り扱い】チケットぴあ、イープラス、ローソンチケットほか

\* Z席 1,650円:公演当日朝10時より、新国立劇場 Web ボックスオフィスほかで販売。1人1枚。電話予約不可。

\* 当日学生割引(50%)、ジュニア割引(20%)、高齢者割引、障害者割引、学生割引、当日学生割引(50%)など各種割引あり。\* 未就学児入場不可。

本公演はレパートリー作品です。過去の上演の舞台写真を宣材としてご提供致します。



【1】



【2】



【3】



【4】



【5】



【6】



【7】



【8】



【9】



【10】



【11】

新国立劇場『こうもり』2018年公演より 撮影:寺司正彦